

平成 15 年「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	徳島大学	整理番号	1-3-017
応募テーマ	主として教育方法の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	「進取の気風」を育む創造性教育の推進		
申請単位	学部単位		
申請担当者	英 崇 夫		
<p>(取組の概要)</p> <p>先端的・独創的な研究開発が必要とされる現代の我が国において、学生のデザイン能力を育成する「創造性教育」は、分野を問わず益々重要となっている。</p> <p>徳島大学では、教育に関する理念のひとつに「進取の気風」（自ら進んで物事を行う姿勢）を掲げ、工学部各学科で、デザイン能力を育む「創成学習」をカリキュラムに取り入れている。創成学習は、テーマの設定等教育方法が多様で成績評価とその標準化に困難が伴うが、これらの問題点をFD委員会等での討論を通じて組織的に克服し、効果的な学習方法とその評価法（特に、プレゼンテーション評価法）を研究・改良し、実施してきた。</p> <p>本取組の内容は、工学部で実施してきた創造性教育をさらに推進し、創成学習開発センターを設置して他学部のカリキュラムに反映させるとともに、全国の大学等とのコアリション(連携)に発展させ、学生の課題設定・探求・解決能力等の向上をめざすことにある。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、徳島大学の理念である「進取の気風」を工学部において育成するため、平成 11 年に工学部で決定され平成 12 年度から実施されてきた「創成学習」の取組を、平成 15 年に大学評議会において決定された徳島大学創成学習開発センターの設置によってさらに発展させたものです。工学部全学科における創成科目の設置、プレゼンテーションによる評価法の開発を中心とする平成 12 年度からの組織的な取組は、当初目標とした「学生一人ひとりの課題設定・探求・解決能力の向上」に効果を認めるなどの実績を上げています。この取組は、今までの実績、大学の組織的な対応などから大きな成果が期待される取組であり、他大学の参考になりうる事例です。</p>			